

リカレント教育に対する思い

令和3年9月11日

NPO法人 東京都中高年福祉推進員協会

佐藤良道(19期)

I、自分の事

1, 自己紹介

○1945年山形県で出生

終戦の年、終戦祈念式典の回数が年齢。
団塊世代の前であり、同学年の人数は少ない。

○幼少期はいじめに苦勞する

1歳で大病(小児麻痺)を患い、上半身が未発達で「せむし」と揶揄された。

○受験、就職に失敗

希望した大学・学部受験に失敗。
就職した出版会社を3日で退職。
新聞広告で信用金庫に就職。

2、私の座右の銘

人間万事塞翁が馬

不幸や禍が、必ずしもその後の人生に悪い影響を与えるとは限らない。

○失敗は成功のもと

○悲観的にならない

○人生を振り返ると、幸よりも不幸の方が多い

○不幸をどう捉えるか

3、50歳直前、激しい頭痛に襲われる

○医者から片頭痛との診断

○MRIを受診したころ 脳が極端に委縮しているとのこと

○若年性痴ほう症になる確率が高い。

▼お先真暗、 頭は真っ白

▼その後どのように過ごすか

○日記をつける(現在まで5年日記6冊目)

○新しいことにチャレンジする

資格試験への受験(殆どの公的資格は50歳以降に取得)

○生涯現役(目標91歳まで)

○できるだけ歩く(目標1日12000歩)

4、定年後の現在

○資格を活かして、北区で社労士業務を創業、本年13年目

- ・12年連続増収
- ・依頼された仕事は断らない
- ・社労士業務の要は、問題発見力
- ・社会的リスクが高まるとニーズも高まる(コロナ禍で雇用調整助成金の依頼)

○70歳、物忘れが多くなる

- ・長年の目標であった通信教育での法学部入学を決意
- ・学習仲間は貴重な財産
- ・本年3月25日無事卒業

Ⅱリカレント教育とは

○リカレント教育とは学校で学び社会に出た後、仕事に活かすために再び学び直すことです。働くことを前提とした学び直しのことで、仕事→学ぶ→仕事→学ぶのサイクルを繰り返す生涯教育構想のことである（参考：[文部科学省](#)）。

○人生100年時代と言われるなかで、自己成長や生産性アップの効果が期待されています。豊かな人生を送り、社会に貢献するために生涯を通じて学び続けることが大事だとされている。

○実務に役立つ最新の知識を習得し、環境変化や技術革新へ対応できるようになるので、再教育・再就職にもつながります。2017年には安倍首相がリカレント教育への財源投入を宣言するなど、既にリカレント教育を提供している大学も多い。

1, リカレント教育のメリットとして挙げられる要素

- すでに身につけているスキルの向上、そして新たに専門的なスキルを身につけられる。
すでに仕事で実践しているスキルならば、何も知らないところから始めるよりも習得が速い。学習の対象が未経験分野であったとしても、仕事を通して身につけた知識との相乗効果が期待できる。
- 厚生労働省では、リカレント教育を通し「自己啓発が労働者に与える効果として、労働者の生産性が上昇することで、賃金が上昇する効果」が考えられるとしている。リカレント教育を受けることにより、キャリアアップが可能となり、将来的に年収アップにつなげることが期待できそうである。企業側のメリットはどのようなものが考えられるであろうか。どんな業種であれ、時代の変化に適応していくためには新しい知識や考え方が不可欠となる。
- 勤続年数に関係なく社員にリカレント教育を行っていけば、どの世代の社員であっても、常に知識のアップデートを行っていくことが可能になる。社員同士で刺激しあい、良好な労働環境を作り出していく上でも役立つのではないだろうか。こうした流れを受け、社会人にリカレント教育の機会を提供している大学も増えている。

2, リカレント教育を導入している企業

○ヤフー株式会社

Yahoo! JAPANでおなじみのヤフー株式会社では「勉学休職制度」という制度を取り入れている。この制度は、専門知識や語学修得の機会を確保するために最長で2年間の休職期間を取得することができる。実際に勉学休職制度を活用して大学院へ入学するなど広く活用されている。

○ワークスアプリケーションズ

「HUE」や「COMPANY」など対法人向けのITシステムを提供している株式会社ワークスアプリケーションズは「カムバック・パス制度」を取り入れている。この制度は、理由の如何に関わらず一度ワークスアプリケーションズを離れた社員の復職を認める制度です。この制度を活用して学び直しを行うなど、社員のキャリア形成を支援している。

○株式会社ミクシィ

株式会社ミクシィではスキルアップ支援プログラムの一環として、業務成果に繋がる外部講師の講義や研修等を特別優待で利用できる制度がある。英会話や資格の取得やプログラミング学習など、従業員学び直しを補助している。

Ⅲ、なぜ、リカレント教育なのか

- 人生100年時代においては、教育、雇用、退職後という伝統的な3ステージの人生モデルから、マルチステージのモデルに変わっていく。
- 2030年頃は、IOTやビッグデータ、人工知能等の技術革新が一層進展(第4次産業革命)し、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、人類史上5番目の新しい社会「Society5.0」の到来が予想
- 誰もがいくつになっても学び直し、活躍することができる社会の実現に向けて、関係省庁が連携してリカレント教育を一層推進するとともに、転職や復職、起業等を円滑に成し遂げられる社会を構築していく必要性

1, 政府の施策

(1) 厚生労働省

○労働者・求職者の職業の安定に資するための職業能力開発、環境整備のための支援 実践的な能力・スキルの習得のための 大学・専修学校等を活用したリカレント 教育プログラムの充実 厚生労働省

□一人ひとりのライフスタイルに応じたキャリア選択の 支援・キャリアコンサルティングの充実(「セルフ・キャリアドック」導入支援等)

○ 労働者・求職者のリカレント教育機会の充実・IT理解・活用力習得のための職業訓練の開発・実施・雇用保険に加入できない短時間労働者等への職業訓練コースの 充実、訓練時間の下限見直し・企業がeラーニングを活用して従業員に対して行う教育訓練への助成・教育訓練給付の拡充(専門実践教育訓練給付の対象講座拡大、特定一般教育訓練についての指定基準の創設)・教育訓練の指導人材の育成

□学び直しに資する環境の更なる整備・長期の教育訓練休暇制度を導入した企業への助成・新規かつ実践的で雇用対策として効果的で必要性の高い教育訓練プログラムの開発 等

□転職が不利にならない柔軟な労働市場や企業慣行の確立・「年齢にかかわらずない転職・再就職の受入れ促進のための指針」策

(2) 我が国の競争力強化に向けた 経済産業省 環境・機運の醸成

□価値創出の源泉である人材力の強化・最適活用の 実現 ・「人生100年時代の社会人基礎力」の策定 ・中小企業における海外展開を担う人材の育成を支援 ・社会課題の解決を通じた実践的能力開発プログラムの開発

□IT・IT利活用分野の拡充支援 ・IT人材育成・スキル転換促進（第四次産業革命スキル習得講座認定制度の大臣認定講座数の拡充

(3) 文部科学省

大学・専修学校等の教育機関における「リカレントプログラム」の拡充に向けた支援 ・産学連携による実践的なプログラム開発支援(短期、オンライン含む) ・実務家教員やリカレント教育推進のための専門人材の育成 ・実践的短期プログラムに対する大臣認定の促進(職業実践力育成プログラム(BP)、キャリア形成促進プログラム)等

● リカレント教育推進のための学習基盤の整備 ・女性のキャリアアップに向けた学び直しとキャリア形成の一体的支援 ・社会人向け講座情報へのアクセス改善

2, リカレント教育等社会人の学び直しの総合的な充実

人生100年時代や技術革新の進展等を見据え、社会のニーズに対応したリカレント教育の基盤整備や産学連携による実践的なプログラムの拡充等による出口一体型リカレント教育を推進することにより、誰もがいくつになっても新たなチャレンジができる社会を構築する。

☆大学・専修学校の実践的短期プログラムに対する文部科学大臣認定の充実・大学・大学院「職業実践力育成プログラム」(BP) 及び「キャリア形成促進プログラム」⇒ 受講者の学習機会の拡充や学習費用の軽減につながるよう、認定講座をさらに充実 ※このほか、社会人の組織的な受入れを促進する大学等への経常費補助、職業実践的な教育を行う「専門職大学」等の設置(2019年度開学)を実施。社会人向けの実践的なプログラムの開発・拡充 リカレント教育推進のための学習基盤の整備

○放送大学の充実(放送大学学園補助金:7,386百万円(7,631百万円))・数理・データサイエンス・AI教育に関するコンテンツの制作・地方公共団体や企業・大学等と連携した短期リカレント講座の制作

○産学連携による情報技術人材等の育成(成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT-PRO):289百万円(308百万円))(超スマート社会の実現に向けたデータサイエンティスト育成事業:234百万円(234百万円))・産学連携による実践的な教育ネットワークの形成・セキュリティ等のIT技術者のスキルアップ・スキルチェンジのための短期プログラムの開発・実施 ○専修学校リカレント教育プログラムの開発・短期の学びを中心に、分野を超えたりカレント教育プログラムの開発・産学連携によるリスタートプログラムの開発・実証 等

○教職に関するリカレント教育プログラムの開発等（就職氷河期世代を対象とした教職に関するリカレント教育プログラム事業：111百万円）（令和元年補正予算にて措置）・就職氷河期世代のうち教員免許状を持つものの教職への道を諦めざるを得なかった者等 を対象としたリカレント教育プログラムの開発等を実施

○産学官連携による地元定着のための教育プログラムの実施（大学による地方創生人材教育プログラム構築事業：254百万円）（新規）・産学官が連携し、地域が求める人材を養成するための教育改革を実行するとともに、出口（就職先）と一体となった教育プログラムを実施

○実務家教員の育成（持続的な産学共同人材育成システム構築事業：280百万円（321百万円））・社会人の学び直しを含む実践的な教育を支える実務家教員を育成・活用するシステムの構築

○女性のキャリアアップ等（女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業：34百万円）（新規）・女性のキャリアアップ・キャリアチェンジに向けた学び直しやキャリア形成等の一体的支援

○社会人向け情報アクセスの改善（社会人の学びの情報アクセス改善に向けた実践研究：17百万円（17百万円））・講座情報、各種支援制度等へ効果的にアクセスできる情報発信ポータルサイトの整備

○リカレント講座の運営モデルの構築（大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営モデルの構築：16百万円）（新規）・大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営モデルの構築及び全国展開に向けた実証研究

3, 大学等におけるリカレント教育の必要性

○社会人が大学などで学習しやすくなるために必要な取り組みとしては、費用の支援、時間の配慮、プログラムの拡充等が求められている。

○産業界においてもリカレント教育の重要性は認識されており、専門的・実践的なカリキュラムが求められている

○社会人となった後も、今後学習してみたい人の合計は約36%。年代別で見ると30代ではその割合が50%を超える

4, 今後学習してみたい人の要望

就職や資格取得などに役立つ社会人向けプログラムの拡充 テレビ・ラジオやインターネットなどで受講できるプログラムの拡充

学習に関する情報を得る機会の拡充 学んだ成果を職場などが評価するような仕組みづくりの推進

職員が職場を離れやすくなる企業などの仕組みづくりの促進 仕事以外の生活や教養に関するプログラムの拡充

修了証や資格など、学んだ成果が分かりやすくなる仕組みづくり 学習を支援する人材(キャリアコンサルタントなど)の育成や配置

5, 【「経済財政運営と改革の基本方針2019」における記載】社会人学生等が柔軟に履修期間・内容を選択できるよう、早期卒業・長期履修制度や単位累積加算制度の活用を促進する。

全ての大学院が入学前や他大学院での学修を活用して単位累積加算的に学位授与を行うための方策を検討し、大学・大学院での学位取得の弾力化を進める。【大学院への飛び入学制度】(学部)

- ・ 特定の分野について特に優れた資質を有する学生が、大学を卒業せずに大学院への入学可能に。H13年【早期卒業・修了】(学部・大学院)・卒業・修了要件を優秀な成績で修得した学生は、在学期間を短縮して卒業・修了が可能に。学部:H11年、修士:H元年、博士:S49年【長期履修制度】(学部・大学院)
- ・ 学生の事情により、標準修業年限(学士課程は4年等)を超えた長期の課程の履修が可能に。H14年【入学前の修得単位の認定】(学部・大学院)・入学前に他大学において修得した単位等を卒業・修了要件単位として認定可能に。大学:H3年、大学院:H5年【履修証明制度】(学部・大学院)
- ・ 在学生以外の者が大学において一定の学修を行った場合に、学校教育法に基づく履修証明書が交付可能に。H19年【最短1年の修士課程】(大学院)
- ・ 修士課程で、主に実務経験を有する者を対象に、1年以上2年未満の標準修業年限を設定可能に。H11年
 - 令和元年8月13日に以下の改正を内容とする学校教育法施行規則等の一部を改正する省令等を公布・施行。
 - 今後、大学院での学位取得の弾力化を進めるための方策について、

☆早稲田大学

早稲田大学では人生100年時代に生涯を通じて学び続けられるよう、リカレント教育を提供しています。学問の真髄やアカデミックリテラシーの習得、哲学や深い教養を学び人生目標や社会貢献を探究するための「ディープ・リカレント教育」と呼んでいます。

これまで行ってきた伝統的な教室での講義に、アクティブラーニングを組み合わせた教育を目指しており、社会人と学生が共に学ぶワークショップやフィールドワークなども実施してきました。

社会連携教育やエクステンションセンター、ボランティア活動などこれまで蓄積してきた知見を活かした独自の早稲田モデルの確立に力を入れています。

早稲田大学日本橋キャンパスの「WASEDA NEO」では、「キャリア」「テクノロジー」「コミュニケーション」「プレゼンテーション」「リーダーシップ」「マーケティング」など多くのカテゴリの講座が用意されており、必要な知識を高いレベルで学ぶことが可能です（参考：[社会人の学び直しについて](#)）。

☆明治大学

明治大学リバティアカデミーという生涯学習拠点を設けています。講座の内容は、**教養、ビジネス、資格、語学など多岐にわたり**、THE!リカレント教育！というような充実した内容になっています。

特に注目したいのは、「教養・文化講座」の中にある充実した考古学や歴史学の講座です。明治大学の考古学は日本考古学会の中でも卓越した成果をあげており、学部及び大学院でも日本トップクラスの講座数を設けています。

その講座を受講できることは大変大きいメリットです。

他にもオフィス英語の講座、公務員試験対策講座、起業家入門講座など学び直しには最適な講座が用意されています。

これだけ充実した講座が設けられているものの、入会金は¥3,000と良心的です。講座一つの相場は¥15,000～¥30,000前後といったところですよ。

大学生から社会人、高齢者まで幅広い世代に対応したリカレント教育と言えます。

☆日本女子大学

- 日本女子大学では、女性のための再就職支援プログラムを提供しています。結婚や出産、介護などで離職をした女性が1年間のキャリア教育を通して、専門的な知識やスキルを身につけることが可能です。
- 独自の求人WEBサイトや大学内での合同企業説明会、ブラッシュアップ講座や面接の受け方講座などの就職に役立つイベントやネットワーキングなど きめ細やかな再就職支援も行っています。受講生の入学時の平均年齢は40.4歳で主婦や非正社員の方が中心となっています。
- 「キャリアマネジメント」や「英語」「ITリテラシー」「企業会計」「簿記」「金融」など幅広い科目が提供されており、1科目あたり週1回の100分授業です。「平成29年度女性のチャレンジ支援賞」（内閣府男女共同参画局）を受賞もしています（参考：[日本女子大学](#)）

☆東京電機大学

- 東京電機大学では、社会人向けの履修証明プログラムや科目等履修生・公開科目などを提供している。履修証明プログラムは、「CySec国際化サイバーセキュリティ学特別コース」や「実践知プログラム」などがあり、サイバーセキュリティに関する知識を学んだり、電気電子や情報、機械などの専門分野を横断的に学習することが可能である。
- 「イノベーションヒストリー」や「創造設計・開発学」「モデリング実践学」「安全社会基礎学」「応用失敗学」「シミュレーション実践学」「技術者プレゼンテーション」などの科目を土曜や夜を中心として学べます。8科目（180時間）のうち6科目を習得すれば履修証明書が交付される。
- 「ものづくり」や「知的財産」など、さまざまなデータの公開講座・イベントも実施してる（参考：[東京電機大学](#)）。

☆筑波大学

筑波大学の東京キャンパス社会人大学院は社会人のための夜間大学院です。夜間の授業となるため、日中忙しい方でも安心して通うことができます。

ビジネス科学研究科と人間総合科学研究科があります。

ビジネス科学研究科は、経営システム科学専攻や企業法学専攻、システムズ・マネジメントコース、国際経営プロフェッショナル専攻などがあり、人間総合科学研究科では生涯発達専攻カウンセリングコース、スポーツ健康システム・マネジメント専攻、リハビリテーションコース、生涯発達科学専攻などで学ぶことが可能です。

例えばスポーツ健康システム・マネジメント専攻では、スポーツや健康分野で活躍している講師陣の授業や実習を受けることができます。スポーツ・ヘルスプロモーションの政策立案や高度な専門的能力の開発を目指します（参考：[筑波大学](#)）。

☆放送大学

放送大学は元祖学び直しを実践している教育機関である。

通常のキャンパスで講座が開かれている大学と違い、完全通信制の大学である。

そのため、学力試験は無く、書類による選考のみとなっている。

リカレント教育という概念が流行する以前より、生涯学習として通信制の講座を提供しており、まさしくリカレント教育の先駆けとなった教育機関である。

通信制なので、誰でもどこでも学びを得られる点が最大の特徴といえる。

そのため、対象者は老若男女、学歴問わず全世代にわたる。

[放送大学](#)

☆慶応義塾大学

卒業率は数パーセントで最難関。文学部、経済学部、法学部。

☆法政大学

日本最初の通信制大学。法学部、文学部、経済学部。

☆武蔵野美術大学

油絵、芸術、デザイン情報

☆日本大学

通信制の大学院を開設。法学部、経済学部、商学部、文学部。

☆明星大学

日本初の通信制大学院を開設、教育学部。

☆産業能率大学

卒業率75%、ビジネススクール、心理学等9コース

☆聖徳大学

児童学研究所を開設、公認心理士、児童心理士、教員免許取得

☆玉川大学

教育学部 教員免許を取得できる日本最初の通信教育課程

Ⅲ生涯学習は長寿健康法の一つ

オランダのフライ大学のスミッツららが、アムステルダムの55歳から85歳の地域住民2380人を対象に行った4年後の死亡率

	諸条件	総人口	4年後の死亡率
年齢	55～64歳	836人	31人(3.7%)
	65～74歳	783人	70人(8.9%)
	75～85歳	761人	162人(21.3%)
情報処理速度	0～24.50	1180人	194人(16.4%)
	24.51～50.70	1200人	69人(5.8%)
流動性知能	2～18	1219人	182人(14.9%)
	19～24	1161人	81人(7.0%)

情報処理速度テストとは、最初に2個が対になったアルファベットの一覧表を見せ(例えばA-G、B-S,C-Kとうような表)、その後「KBGSUC」というようなアルファベット列を提示して、どれに対応するかという並べ替えをさせる(たとえば「CSAB～」となる。

流動性知能とは、一部が欠けた図形を見せ、欠けた図柄に一致するものを6つの中から選ばせる。

IV、計画された偶然性

○クランボルツ教授(スタンフォード大学)の言葉。

○「人間万事塞翁が馬」とよく似ている。

○たまたま起こったことをあたかも計画されていたかのように自分の中に取り込む事

○過去の事実は変えられない。しかし、過去の事実を自分の中でどう位置付けるかはいくらでも変えられる。

○変えられないのは過去と他人。変えられるのは未来と自分。多くの人は、変えられないものを変えようとして苦労している。

V 映画「マイ・インターン」から学ぶ

○主人公のベン・ウィッターは70歳。悠々自適の生活をする高齢者。3年前に連れ合いに先立たれ、何をしても心が埋まらない。そんな時、近所のスーパーマーケットで「高齢者インターン募集」のチラシを見る。女性用の衣服をネット販売する会社。1年半前、一人の主婦が立ち上げた220人を雇用する急成長会社で社会貢献として高齢者の雇用を考えた。彼は早速応募することにした。

○紙の履歴書ではなく自分自身の紹介ビデオを 유튜브 に立ち上げることが求められた。電話帳を印刷する会社にいた彼にとって悪戦苦闘しながらも無事採用される。

○社長は、彼に期待はしていなかった。ところが随所に心配りをみせ、若手社員からも助言を求められて、会社の中で自分の持ち味を発揮していく。

○引退後、したいことをして気ままに過ごすことは素晴らしい。しかし、そのことが長く続いたらどうであろうか。誰の役にも立っていないという状態に、人は虚しさを感じないであろうか。主人公のベンは「働くこと」を選んだ。

VI能力の賞味期限を延ばす方法

1, 新しいことに挑戦し続ける

技術は日進月歩である。新しい技術は積み重ねの上に花開く。常に新しいものに触れていれば、その落差はさほど大きく感じない。しかも、新しい技術は使いやすさの面でも進歩する。新しいものを億劫がるのではなく、興味を持って接していけば必ず使いこなせるようになる。

探求心を持ち続けことが、高齢者に働き続けるうえで欠かせない条件と言えよう。

2, 頼まれたことは何でも引き受ける

一般に、高齢になると腰が重くなる。何か頼まれても、出来ない理由から考えがちになってしまう。しかし、それでは、顧客から頼りにされる人物にはなれない。顧客からの依頼に対応することは、とりもなおさず能力開発の機会を自らとりに行くことになる。

身近な機会をとらえて自分の能力を磨くことは、誰にでもできる有効な方法である。社会人向けの大学や大学院に通うと、仲間がいて、たくさんの刺激を受けることができる。

3, 自ら仕事をみつけて動く

高齢期になると、少し余裕がでてきて、広い視野で物事を見られるようになる。すると、若手が見逃している点に気づくことができる。そのとき、どのように若手に伝えるかが難しい。「この部分って、何だろう」といった具合に若手自身が気付くような言い方をしてみる。回りくどいかもしれないが、そうすることで「若手から頼りにされるようになる」

4, 昔の話は聞かれない限りしない

私たちは、昔のことを話したがる。「以前はこうしていたんだ」とか「昔はよかったな」という発言が出てしまう。しかし、現役世代にとってはどうでもよいことである。若手から聞かれば、話せばよいのだし、アドバイスを求められたときに必要なら昔ことを語れば良い。高齢世代にとって経験は財産であるが、現在でも有効に機能するものとそうでないものがあることを肝に銘じておく必要がある。

5, 自分のスタイルを大切にする

新しいものに挑戦することは大切であるが、すべてを変える必要はない。良いものはよいという哲学を貫くことも個性である。若手から「いつかはああなりたい」と思ってもらえる大人が減っているように思える。若手が目標とするような大人になれるよう心掛けたい。

6, 身ぎれいにする

高齢になると、加齢臭の問題や肌がくすんでくるなど、よほど気を付けていないと良い状態保てなくなる。臭いの問題は、家族でも面と向かって指摘するのは難しいと言われる。だからこそ、自分で気を付けてチェックすることが必要である。高いものを身に着ける必要はない。こまめに洗濯をし、明るい色の服を着るようすることで印象は相当よくなるはずである。



ご清聴ありがとうございました。